

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成27年4月21日同時配布

平成27年4月21日
国土交通省
国土技術政策総合研究所

木材加工情報を活用して、木造住宅の耐震性能を容易に把握！！ ～カンファレンス「wallstat の利活用事例と CEDXM 連携について」を開催～

国総研では、木造住宅に用いる木材をプレカット加工¹⁾する際に用いる CAD データを用いて、地震時の安全性を解析するため、構造解析ソフトウェア「wallstat (ウォールスタット)」²⁾に、木造住宅用 CAD の標準フォーマットである「CEDXM (シーデクセマ)」³⁾のデータを直接取り込んで解析ができるような改良を進めています。

両者の連携が実現すると、設計者や施工者が木造住宅の地震時の安全性評価を容易に行い、それらの結果を分かりやすく示すことができるようになります。

今回は、建物が倒壊するまで解析ができ、その過程を動画で再現できる wallstat の利活用事例と、CEDXM との連携の取り組みを紹介します。

- 1) プレカット加工とは、木造住宅の建設の際にあらかじめ工場で木材を加工しておくこと。CAD/CAM を用いた全自動機械加工が主流。
- 2) wallstat (ウォールスタット)とは、木造軸組構法住宅の大地震時の倒壊過程をパソコン上でシミュレートする数値解析ソフトウェアであり、現在、インターネットで無償公開されています。
URL: <http://www.nilim.go.jp/lab/idg/nakagawa/wallstat.html>
- 3) CEDXM (シーデクセマ)とは、木造軸組構法住宅に関する建築意匠 CAD とプレカット生産 CAD のデータ連携を目的として構築された標準的なファイルフォーマットです。NPO シーデクセマ評議会では標準ファイルフォーマットとして維持管理と更新、さらなる開発及び普及などを目的として活動をしています。

1. 開催の目的

現在、木造軸組構法による木造住宅の大半が、あらかじめ工場で木材を機械加工した材料（プレカット材）で建築されており、プレカット加工の際の CAD データには、木造住宅の構造解析に活用できる三次元情報が含まれています。このデータを活用することで、木造軸組構法住宅の耐震性能を容易に把握することが可能となります。

国総研では、wallstat と CEDXM の連携に関する研究協議を進めており、今回はその成果として、wallstat の利活用事例と、CEDXM との連携の取り組みを紹介します。

2. カンファレンスの概要

日時:平成27年6月9日(火) 15:00～17:00

場所:TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター カンファレンスルーム 9C

聴講料:無料

プログラム、申込方法:別紙参照 ※どなたでも参加可

お問合せ先: 国土技術政策総合研究所 建築研究部 材料・部材基準研究室
主任研究官 中川 貴文 (なかがわ たかふみ)
TEL: 029-864-4383 (直通) nakagawa-t92ta@nilim.go.jp